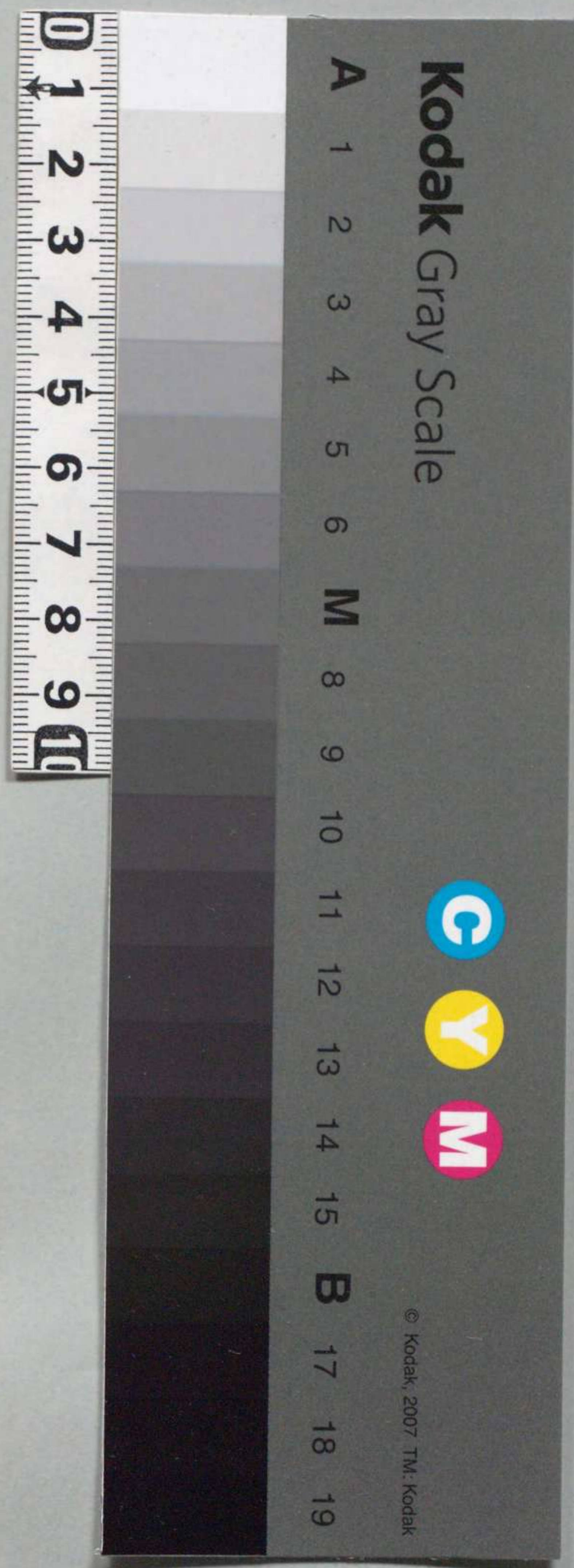
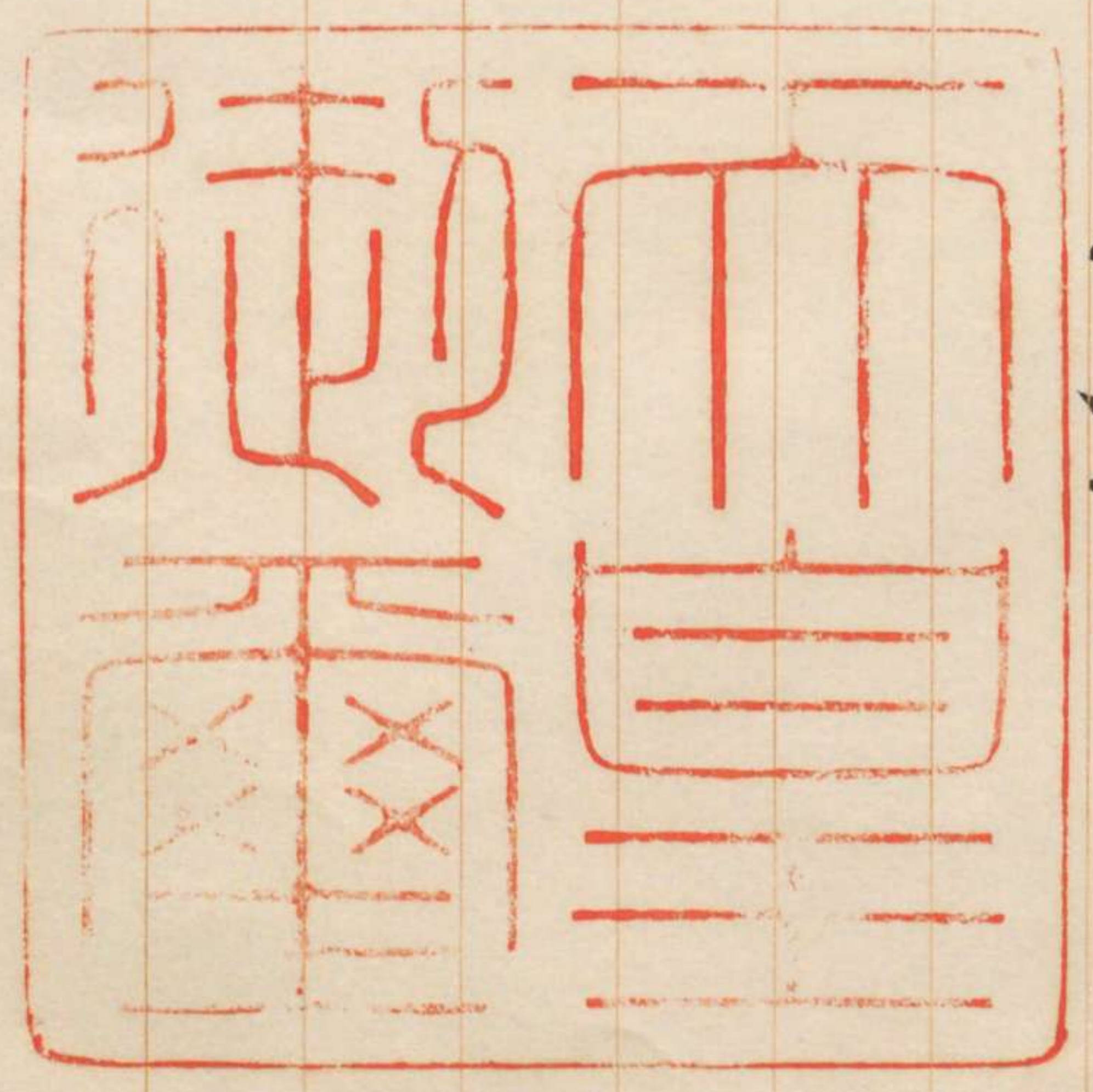


勅令第七十三號



朕陸軍一年志願兵條例ノ改正ヲ裁
可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十六年七月十九日

陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第七十三號

陸軍一年志願兵條例

第一條 徵兵令第十一條ニ據リ一年志願兵トナル者ハ居住地師管内ニ於テ服役スヘキ兵科及衛戍地ヲ選フコトヲ得但第四條ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 一年志願兵ニハ所屬隊ヨリ糧食被服裝具兵器彈藥ノ現品ヲ給シ被服費裝具費彈藥費及兵器修理費トシ

テ金六十二圓糧食費トシテ金三十八
圓ヲ納メシム又騎兵科ニ入ル者ニハ
馬匹ヲ貸與シ馬糧費裝蹄費剔毛費及
馬藥費トシテ更ニ金七十五圓ヲ納メ
シム以上ノ金額ニテ不足ヲ生スルト
キハ之ヲ追徴シ殘餘アルトキハ之ヲ
還付シ兵器ハ本人満期ノ際之ヲ返納
セシム

第三條 一年志願兵ハ在營セシムルヲ
例トス但本人ノ願ニ依リ聯隊長聯隊長ヲ成

該隊長以下同ハ外泊ヲ許シ通勤セ
シムルコトヲ得

第四條 費用ノ金額ヲ自辨シ能ハサル
ノ證アル者ハ糧食費外ノ費用ヲ官給
ス

第五條 一年志願兵ハ總テ無給料トス
其檢査往復竝ニ入營退營旅費亦自辨
トス

第六條 官費服役ヲ許スヘキ一年志願
兵ノ定員ハ毎年陸軍大臣之ヲ定ム

第七條 官費服役出願者前條ノ定員ヲ
超過スルトキハ年少ノ者ヨリ順次次
年ニ廻シ入隊セシム

第八條 一年志願兵志願者ハ其願書ヲ
一月三十一日迄ニ本籍ノ島司郡市長
東京 京都 大阪 神戶 長崎 以下北海道ヲ經テ
自費服役者ニ在テハ服役スヘキ衛戍
地所管ノ旅團長東京 衛戍 第一旅團長ニ
官費服役者ニ在テハ居住地所管ノ旅
團長ニ差出スヘシ但徵兵令第十一條

ノ學校卒業業者ハ卒業證書寫及戸主ニ
アラサルモノハ戸主二十歳未満者ハ
戸主若クハ後見人ノ承認書ヲ添附ス
ルヲ要ス
島司郡市長ハ志願者ノ身元資産竝ニ
犯罪有無ノ證明書ヲ製シ其願書ニ添
附スヘシ

第九條 前條ノ志願者ニシテ一月三十
一日迄ニ徵兵令第十一條ノ學校ヲ卒
業セサル者ハ其年十月三十一日迄ニ

卒業スヘキ者ニ限リ學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證書寫ニ換フルヲ得但卒業ノ上ハ直ニ卒業證書寫ヲ添ヘ旅團長ニ届出ヘシ

第十條 旅團長ハ第八條ノ志願者中學術試験ヲ受クヘキ者ノ人名書ニ通ヲ製シ師團長ニ呈スヘシ師團長ハ其一通ヲ監軍ニ呈シ一通ヲ身體検査ヲ為サシムヘキ軍醫ニ下付スルモノトス

第十一條 一年志願兵ノ學術試験格例

ハ毎年監軍之ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十二條 師團長ハ學術試験ヲ受クヘキ者ノ身體検査時日ヲ定メ府縣知事ニ通達シ本人ヲ検査地ニ召集ス

第十三條 師團長ハ軍醫ヲシテ學術試験ヲ受クヘキ者ノ身體検査ヲ為サシメ其合格者ハ陸軍將校生徒試験臨時委員ヲシテ學術試験ヲ為サシメ試験書類ヲ將校學校監ニ送付スヘシ

將校學校監ハ試験ノ成績ニ據リ及第
落第ヲ定メ監軍ノ裁定ヲ受ケ之ヲ旅
團長ニ通告スヘシ

第十四條 旅團長ハ前條ノ通告ニ據リ
及第者ニハ一年志願兵認定證書ヲ付
與シ落第者ニハ其旨ヲ通知スヘシ
第八條但書ノ卒業者及第九條ニ當ル
者ハ通常ノ徴兵ト同時ニ身體検査ヲ
為シ合格者ニハ一年志願兵認定證書
ヲ付與シ不合格者ニハ其旨ヲ通知ス

ハシ但第九條ニ當ル者ノ認定證書ハ
同條但書ノ届出ヲ為シタルトキ之ヲ
付與スルモノトス

第四條ニ當ル者ハ認定證書ノ外別ニ
官費服役證書ヲ付與スヘシ

第十五條 一年志願兵ノ入隊期日ハ每
年十二月一日トス

第十六條 一年志願兵認定證書ヲ受ケ
タル者ハ入隊スヘキ年ノ十一月三十
日迄ニ第二條若クハ第四條ノ金額ヲ

所屬隊ニ納付スヘシ但入隊前外泊ノ
許可ヲ受ケタル者ハ第二條ノ糧食費
ヲ控除シ納付スヘシ

第十七條 一年志願兵ノ教育ニ關シテ
ハ聯隊長其責ニ任スルモノトス

第十八條 一年志願兵中勤務熟達品行
方正ニシテ豫備士官タルヲ得ヘキ材
幹アル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ四箇
月ノ後一等卒ヲ命シ通常教育ノ外特
別ノ教育ヲ授ケ更ニ二箇月ノ後上等

兵ト為シ
三箇月ノ後
勤務ヲ練習
其服役満期ニ際
驗委員ヲシテ第
ニ終末試験ヲ為
師團長^{歩兵團長ニ在}テ
第者ニハ終末試験
一等軍曹ニ其落第者ハ二等軍曹ニ任
シ豫備役ニ編入ス

務ヲ為シメ更ニ
曹ノ階級ニ進メ諸
テハ聯隊長終末試
テハ十六條ノ格例ニ從
メ其成績ヲ具シ
認可ヲ受ケ及
證書ヲ授與シ



所屬隊ニ納付スヘシ但入隊前外泊ノ
許可ヲ受ケタル者ハ第二條ノ糧食費
ヲ控除シ納付スヘシ

第十七條 一年志願兵ノ教育ニ關シテ

ハ聯隊長其責ニ任ズルモノトス

第十八條 一年志願兵中勤務熟達品行

方正ニシテ豫備兵官タルヲ得ヘキ材

幹アル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ四箇

月ノ後一等ノ通常教育ノ外特

別ノ教育ニ二箇月ノ後上等



兵ト為シ下士ノ勤務ヲ為シメ更ニ
三箇月ノ後二等軍曹ノ階級ニ進メ諸
勤務ヲ練習セシム
其服役満期ニ際シテハ聯隊長終末試
驗委員ヲシテ第二十六條ノ格例ニ從
ヒ終末試験ヲ為シメ其成績ヲ具シ
師團長^{歩兵團長}ヲ在^テハノ認可ヲ受ケ及
第者ニハ終末試験及第證書ヲ授與シ
一等軍曹ニ其落第者ハ二等軍曹ニ任
シ豫備役ニ編入ス

月 日

第十九條 前條及第二十二條ノ選ニ當
ラサル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ六箇
月ノ後一等卒ヲ命シ更ニ三箇月ノ後
上等兵ト為シ通常教育ノ外下士タル
ノ教育ヲ授ケ服役満期ノ際其成績優
等ノ者ハ師團長ノ認可ヲ受ケ二等軍
曹ニ任シ之ニ亞ク者ハ下士適任證書
ヲ付與シ若クハ之ヲ付與セスシテ豫
備役ニ編入ス

第二十條 第十八條及第二十二條ニ當

ル者ニシテ疾病其他ノ事故ニ由リ豫
備士官ト為スノ見込ナキニ至リタル
トキハ第十九條ノ例ニ準シ取扱フモ
ノトス

第二十一條 醫學藥學理財學若クハ商

業學ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ歩兵

隊理者ハ財學團司令部所在地ノ歩兵隊ニ

限ニ獸醫學ノ卒業證書ヲ所持スル者

ハ騎兵隊野戰砲兵隊又ハ輜重兵隊ニ

於テ前半年間隊列勤務ヲ為シ後半

内 局

ノ初ニ於テ軍醫生藥劑生獸醫生又ハ
軍吏生ト為リ各専門ノ勤務ヲ練習ス
ルコトヲ得志願ノ者ハ入隊ノ際其卒
業證書寫ヲ添へ出願スヘシ
前項ノ獸醫生タラントスル者ハ第二
條ノ馬匹ニ關スル納金ヲ要セス

第二十二條 前條ノ志願者中勤務勉勵
品行方正ニシテ豫備士官タルヲ得ヘ
キ志操アル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ
四箇月ノ後一等卒ヲ命シ更ニ二箇月

ノ後上等兵ヲ命スヘシ之ニ軍醫生藥
劑生獸醫生軍吏生ヲ命スルニハ師團
監督部長若クハ軍醫長獸醫長ヨリ師
團長ノ認可ヲ受クルモノトス但軍吏
生ト為シタル者ハ下士ノ勤務ヲ為サ
シメ上等兵ヲ命シタルトキヨリ更ニ
三箇月ノ後三等書記ノ階級ニ進ムヘ
シ

第二十三條 軍醫生ノ教育ハ該隊上級
醫官藥劑生ノ教育ハ衛戍病院長獸醫生

ノ教育ハ該隊上級ノ獸醫官軍吏生ノ
教育ハ師團監督部長各其責ニ任スル
モノトス

第二十四條 軍醫生、藥劑生、獸醫生ハ曹
長同等ノ取扱ヲ受クルモノトス

第二十五條 軍醫生、藥劑生、獸醫生及軍
吏生ト為シタル者ハ取扱滿期ノ際師
團監督部長、軍醫長若クハ獸醫長終末
試験委員ヲシテ第二十六條ノ格例ニ
從ヒ終末試験ヲ為シメ其及第者ニ

ハ軍醫長、獸醫長ハ其成績ヲ受ケテ終末試験
具ニ師團長ノ認可ヲ受ケテ及第證書ヲ授與シ軍吏生ニ在テハ二
等書記ニ任シ豫備役ニ編入ス

其落第者ニ在テハ軍醫生ハ三等看護
長ニ藥劑生ハ三等調劑手ニ獸醫生ハ
蹄鐵工下長ニ軍吏生ハ三等書記ニ任
シ豫備役ニ編入ス

前二項ニ於ル下士ノ任官ハ軍醫生、藥
劑生ニ在テハ軍醫長ヨリ陸軍省醫務
局長、獸醫生ニ在テハ當該隊長ヨリ師

團長軍吏生ニ在テハ監督部長ヨリ陸
軍省經理局長ノ認可ヲ受クルモノトス
第二十六條 師團長及師團監督部長ハ
毎年一年志願兵ノ終末試験格例ヲ定
メ豫メ之ヲ告達ス
第二十七條 終末試験委員ハ聯隊長監
督部長之ヲ編成ス
軍醫生藥劑生獸醫生ノ終末試験委員
ハ師團長之ヲ編成シ軍醫長及獸醫長
ノ指揮ニ屬ス

第二十八條 第十八條及第二十二條ニ
依リ上等兵ト為シタル者ハ成ルヘク兵卒ト
居室ヲ異ニシ將校ト共ニ會食セシムヘシ
第二十九條 一年志願兵ノ服制ハ別ニ
定ムルモノ、外其階級ニ應ジ各兵科
ノ下士兵卒ト同一トス但軍醫生藥劑
生獸醫生ハ該隊曹長ト同一ニシテ襟
ニ特別ノ徽章ヲ附ス
第三十條 戰時若クハ事變ニ際シテハ一年
志願兵ト雖モ通常ノ現役勤務ニ服セシム

第三十一條 一年志願兵入隊前禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ死亡シタルトキハ其親族ヨリ旅團長ニ届出ヘシ

第三十二條 一年志願兵認定證書ヲ所持スル者疾病其他止ヲ得サル事故ニ由リ十二月一日ニ入隊シ難キトキハ證明書類ヲ添ヘ入隊延期ヲ旅團長ニ出願スヘシ
前項ノ事故ヲル者十二月三十一日ヲ過ッルモ入隊シ難シト認ムルトキハ旅團長之ヲ次年廻シト為シ聯隊長及

本人ニ通知スヘシ

第三十三條 一年志願兵入隊シタルトキ若クハ次年廻シト為リタルトキハ本籍所管大隊區徴兵官又ハ警備隊區徴兵官ニ届出ヘシ

第三十四條 一年志願兵認定證書ヲ得タル者正當ノ事由ナクシテ其年十二月一日ニ入隊セサルトキハ一年志願兵タルノ資格ヲ失フモノトス

第三十五條 徴兵事務條例第五十三條

第六十七條及第六十八條ハ一年志願
兵ニモ亦適用ス但其豫備役ニ編入ス
ハキ者ハ國民兵役ニ編入ス

附則

第三十六條 本條例第一條乃至第四條
ハ本年十二月迄ニ入隊ノ一年志願兵
ニハ適用セズ